

# 決 算 報 告 書

平成26年度期末決算

(第11期)

(自 平成26年4月 1日)

(至 平成27年3月31日)

国 立 大 学 法 人  
滋 賀 大 学

# 平成26年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,074	3,121	47 (注1)	
施設整備費補助金	904	886	△ 18 (注2)	
補助金等収入	12	11	△ 1 (注3)	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	23	23	-	
自己収入	2,153	2,143	△ 10	
授業料及び入学料検定料収入	2,108	2,065	△ 43 (注4)	
財産処分収入	-	30	30 (注5)	
雑収入	45	48	3 (注6)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	49	84	35 (注7)	
目的積立金取崩	20	30	10 (注8)	
計	6,235	6,298	63	
支出				
業務費	5,247	5,283	36	
教育研究経費	5,247	5,283	36 (注9)	
施設整備費	927	909	△ 18 (注10)	
補助金等	12	11	△ 1 (注11)	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	49	89	40 (注12)	
計	6,235	6,292	57	
収入－支出	-	6	6	

## ※予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠、授業料等免除実施分に伴う特別運営費交付金が交付されたことによる増額37百万円及び退職手当の支給経費について前年度からの繰越額を充てたことによる増額10百万円により、予算額に比して決算額が47百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、施設整備費事業において不用相当額が生じたことにより、予算金額に比して決算額が18百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、交付決定額の減額1百万円、補助金事業の獲得に努めたことによる単位未満の増額により、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっております。
- (注4) 授業料及び入学料検定料収入については、受験者数の増加による検定料収入の11百万円増額、入学料収納者の増加による増額2百万円と平成27年度入学者に係る前納授業料の減少等による授業料収入の減額37百万円、追加で交付された特別運営費交付金及び学内財源の一部で授業料免除を実施したことによる減額19百万円により、予算金額に比して決算金額が43百万円少額となっております。
- (注5) 財産処分収入については、前年度からの繰越額を計上していることにより、30百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、講習料等収入の減額1百万円と、大学入試センター試験実施収入、学校財産貸付料、雑収入等の増額4百万円との差額により、予算金額に比して決算額が3百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等収入、寄附金収入で受入額が増加したことによる増額31百万円及び科学研究費補助金間接経費の受入額が増加したことによる増額4百万円により、予算金額に比して決算額が35百万円多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、執行計画の見直しにより、予算金額に比して決算額が10百万円多額となっております。
- (注9) 教育研究費については、物件費の節減等による減額10百万円、人件費の節減等による減額8百万円、退職手当の増額10百万円、追加で交付された特別運営費交付金及び学内財源の一部で授業料免除を実施したことによる減額19百万円、(注5)の繰越に係る工事を執行したことによる増額30百万円、(注8)に伴う増額10百万円、追加で交付された特別運営費交付金に係る事業を実施したことに伴う増額23百万円により、予算金額に比して決算額が36百万円多額となっております。
- (注10) (注2)の理由により、予算額に比して決算額が18百万円少額となっております。
- (注11) (注3)の理由により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。
- (注12) (注7)の理由による増額39百万円と、過年度の寄附金収入を今年度事業の用に供したことによる増額1百万円の合計により、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっております。